

旭日単光章を受章 地方自治に貢献



菊地 満男さん（長浜町穂積）
元長浜町議会議員

菊地さんは、昭和44年から5期18年6か月にわたり長浜町議員を務め、うち2年間は議長を務めるなど町議会の円滑な運営に貢献しました。また、長浜町土地開発公社理事や長浜町土地改良区理事、長浜町青果農業協同組合理事を長年務め、長浜地区の第一次産業の振興に尽力しました。

作文で平和を訴え

世界連邦推進全国小中学生作文コンクール



永井 舞代さん（大洲小学校6年）

永井舞代さんの作文が、第39回世界連邦推進全国小中学生作文コンクールで特賞を受賞しました。永井さんは、夏休みにひいおじいさんから聞いた話をもとに世界平和についての作文を出品し、約1500点の作品の中から特賞に選ばれました。3人の特賞受賞者のうち、小学生は永井さん1人です。

永井さんは今回の受賞について、

「賞状が届いて、やっと受賞の実感がわいてきました。これからはたくさんの方の心に届くような作文を書いていきたいです」と話しました。

世界連邦推進全国小中学生作文コンクールは、世界連邦運動協会主催で、小中学生が平和を認識し、社会の一員として意識を高め世界連邦について理解を深めることを目的に、毎年開催されています。

土砂災害防止ポスターで各賞を受賞

平成22年度 土砂災害防止に関する作品コンクール

国土交通省と愛媛県では、小・

中学生のみなさんに土砂災害およびその防止についての理解と関心を深めてもらうため、毎年「土砂災害防止に関する作品コンクール」を開催しています。

平成22年度のコングレで、大洲市から二人が入賞し、表彰されました。

事務次官賞

林 奏良さん（平小学校1年）



砂防ボランティア協会会長賞

北川 凜音さん（平小学校1年）



※学年は、いずれも作品作成時のものです。

地域づくり活動を支援します

(財)自治総合センター 宝くじ助成事業

平成22年度自治総合センター宝くじ助成事業により地域活動を実践する団体が、備品整備を行いました。

岩谷地域自治会

【祭り用具整備】

秋季大祭の花形でもある六つ鹿踊り、江戸時代より伝承され、郷土芸能でもある鎮縄神楽の備品は、老朽化が激しく使用に支障をきたしていました。今回、備品の



宝くじ助成事業とは？

自治総合センターでは、住民の行うコミュニティ活動を支援しています。

この助成事業の財源には、宝くじの普及広報事業費として受け入れる宝くじ受託事業収入が充てられています。



衣装、六つ鹿頭、竜の頭、ダイバン面など

【問い合わせ先】

企画調整課企画係

☎242111 (内線523)

整備を行うことで、郷土芸能の保存伝承と担い手育成を図るとともに、過疎化・高齢化が著しく進む岩谷地区での地域コミュニティの活性化を図りたいと考えています。

【整備した備品】

衣装、六つ鹿頭、竜の頭、ダイバン面など

大洲市連合婦人会大会 開催

地域婦人会の充実と発展を願って

3月3日(木)、肱南公民館大ホールで関係者約100人が参加して、「大洲市連合婦人会大会」が開催されました。開会式で主催者あいさつに立った三好康子会長は「半世紀以上、地域を愛して活動してきました。地域を一番知っている団体だと自負しています。平成23年度も愛を持って活動していきたいです」と話しました。

も上がる和やかな雰囲気にも包まれました。大洲市連合婦人会大会は、当面の諸問題について連携を深めその取り組みを行うとともに、現代社対に対応した婦人会活動のあり方を考えることを目的に、毎年1回大洲市連合婦人会と大洲市教育委員会の主催で開催されます。

開会式後は、平成22年度の各部の活動報告が行われたあと、徳森婦人会と粟津婦人会の研究発表が行われました。徳森婦人会の尾上撰子会長からは「婦人会活動における三世交代交流」について、平小児童との交流を軸に実践例を含めた発表が行われました。また市の人権教育団体の指定を受けた粟津婦人会の大本イヨ子会長からは「人権同和教育の取り組みについて」と題して、1年を通じた人権学習の取り組みが発表されました。その後、十夜ヶ橋永徳寺の三好圓暁副住職が「こころ」と題した講演を行い、会場は時折笑い声



2/27(日)

平成23年芸能発表会 ～日頃の成果を披露～

大洲市文化協会長浜支部主催による「第30回芸能発表会」が長浜体育館で開催されました。21団体の出演者が延べ600人を超す観客に日頃の練習成果を披露し、舞台と客席が一体となった素晴らしい発表会となりました。

今回は30回という節目に当たり、発表会後豪華景品が当たる抽選会も行われました。



「楽しいフラダンス」を一緒におどりませんか！

親子ふれあい運動会 ～河辺公民館～

3/1(火)



「ジャンボかるたとり」ゲームは僕が一番だ！！

河辺幼稚園と公民館の共催により、恒例の「親子ふれあい運動会」が開催されました。

この行事は、幼稚園児6人と未就園児2人を対象に、親子でスポーツを楽しんでもらい、幼稚園部会員のふれあい交流を図る目的で毎年開催しています。

当日は広い体育館の中で、子どもたちはお母さんと手を取り合って大はしゃぎ！！

みんなで仲良く運動会を楽しみました。

3/3(木)

川の流れてに沿って ～雛流し～

肱川地域と河辺地域の幼稚園児が肱川支所庁舎裏の河辺川で「雛流し」を行いました。肱川町老人クラブのみなさんが河原の石などで川の流れをせき止めて、雛人形がうまく流れるように準備をしていたおかげで、園児お手製の雛人形がスイスイと流れていきました。

この雛流し行事は鹿野川地区で伝統の恒例行事として実施されていましたが、途中中断していたこの行事を、肱川町老人クラブのみなさんが古き良き肱川町の風物詩を復活させ、継続実施しています。



うまく流れるかな？ 棧橋から雛人形を流す園児ら

のどかな春を満喫 ～五郎菜の花まつり開催～

3/13(日)



咲き誇る菜の花の様子

五郎河川敷の7ヘクタールの菜の花畑を会場に、五郎菜の花まつりが開催されました。当日は絶好のお花見日和で、多くの観光客が詰めかけました。会場では新鮮野菜やうどんの販売が行われ、正午から始まったもちまきでは、子どもたちが歓声を上げながら競っておもちを拾っていました。

この日の菜の花の咲き具合は6分から7分咲きでしたが、訪れた親子連れらは菜の花畑を散策したり、記念撮影をしたりと、思い思いに春の一日を楽しんでいました。

五郎菜の花まつりは「五郎花を愛する会」の主催で、丹精こめて育てた菜の花をみなさんに楽しんでいただくため、毎年この時期に開催されています。

0級ご当地グルメキャラクター決定

～大洲市出身の2人がデザイン～

3 / 14(月)



左から西山未沙子さん、宮川詳子さん

大洲市役所で「0級ご当地グルメキャラクターコンテスト表彰式」が行われ、キャラクターをデザインした2人が表彰されました。

それぞれのキャラクターについて、「0級くん」をデザインした西山未沙子さんは、「0のイメージで人の輪を広げていき、みんなに愛されて地域の活性化につなげてほしい」と話し、「三ツ星ちゃん」をデザインした宮川詳子さんは、「大洲を体で表現しているキャラクターなので、市内だけでなく全国に大洲を広める存在になってほしい」と話しました。

3 / 18(金)

龍馬になれ！ ～大洲北中学校少年式記念行事～

大洲北中学校2年生128人、保護者42人、職員11人のみなさんが、少年式記念行事として河辺地域の坂本龍馬脱藩の道を踏破しました。この日は前日の降雪で開催が心配されましたが、開始時に少々肌寒かった程度で、すっきりと晴れ渡り絶好のウォーキング日和となりました。龍馬が河辺の山道を1日で駆け抜けていったように、生徒たちは現代の龍馬のごとく急な山道を元気よく歩き、ときには走っていました。

ゴールの泉ヶ峠では地元のみなさんのおもてなしをいただき、生徒たちは笑顔で感謝を表現していました。全員で達成感を共有し、一層友情や絆を深めました。



やったね!! ゴール

子どもたちも大喜び ～五郎保育園落成記念式～

3 / 26(土)



みんなでお祝い



上手に踊れました

暖かな日差しのもと、五郎保育園落成記念式が行われました。五郎保育園は県道の改良工事のため敷地を一部移転し、平成22年1月から建築が進められ、この日の落成式を迎えました。式では、まず三瀬理事長ら関係者らが参加して、厳かに神事が執り行われました。その後、関係者と園児ら13人によるくす玉割りが行われ、保育園内がお披露目されました。

この日は園児による発表会も催され、大勢の保護者が見守る中、子どもたちは真新しい舞台の上で元気一杯の踊りを見せていました。